

2020年度

基幹教育センター
副専攻コース履修案内
【2018年度以降入学者用】

岡 山 大 学

全学教育・学生支援機構 基幹教育センター

1 開設コース

基幹教育センターでは、副専攻コースとして「日本語教育コース」を開設し、15人程度を受け入れます。

2 履修対象者

履修対象者は、次の学部の学生で、所属学部の学部長が認めた者としします。各学部の判定方法は、3ページ「各学部履修対象者判定方法」のとおりです。

- ① 文学部 ② 教育学部 ③ 経済学部 ④ 理学部
⑤ グローバル・ディスカバリー・プログラム

なお、次の学部の学生は、所属学部のカリキュラムとの関係から、副専攻コースを履修することはできません。

- ① 法学部 ② 医学部 ③ 歯学部 ④ 薬学部 ⑤ 工学部
⑥ 環境理工学部 ⑦ 農学部

3 履修の申請方法

副専攻コースの履修を希望する場合は、次の表に示す時期に、所定の「副専攻コース履修申請書」（所属学部教務担当で受け取ってください。）により、所属学部の教務担当で申請手続を行ってください。

入学時期	申請時期	提出先
4月入学者	申請の時期は、 <u>2年次の次の期間</u> です。注)2,注)5 2019年度4月入学者の申請期間 《2020年7月13日(月)～7月31日(金)まで》	所属学部の 教務担当
10月入学者	申請の時期は、 <u>1年次の次の期間</u> です。注)3,注)4,注)5 2019年度10月入学者の申請期間 《2020年7月13日(月)～7月31日(金)まで》	

注)1 履修の開始時期は次ページの「5 履修の開始時期」を参照してください。履修登録は、通常の履修手続きのとおりです。

2 申請時期は原則として2年次ですが、所属学部の学部長が認める場合は、3年次以降にも申請が可能です。この場合の申請期間は申請年度の4月以降、早めにHP等で確認してください。

3 10月入学者の方で副専攻コースを希望する場合は、履修開始時期について、早めに学務部学務企画課教育支援グループ（一般教育棟A棟2階①カウンター）へ相談してください。

4 10月入学者の方の申請時期は原則として1年次ですが、所属学部の学部長が認める場合は、2年次以降にも申請が可能です。この場合の申請期間は申請年度の4月以降、早めにHP等で確認してください。

5 2018年度入学者のうち、事情により昨年度に申請できなかった方で今年度申請希望する方は、2019年度入学者の申請期間と同じ期間内に、所属学部の教務担当で申請手続を行ってください。

6 2020年度入学者の申請期間は、来年度の履修案内で確認してください。

4 履修の許可

履修の許可は、全学教育・学生支援機構が、所属学部長から副専攻コース履修に係る申請があった者について、審査を行い決定します。

審査結果の通知は、所属学部の教務担当を通じて行います。

通知方法・時期については、教務担当から別途掲示等により指示があります。

5 履修の開始時期

副専攻コースの履修の開始は、原則として2年次の第3学期からですが、日本語教育コースは、教育効果等を勘案して、1年次第1学期などの早い段階から、コースが指示する履修順序に従って履修を開始することができます。

ただし、早い時期から履修している場合であっても、2年次（10月入学者は1年次）の7月の申請時期に「3 履修の申請方法」による申請手続きが必要です。

また、申請の結果、副専攻コースの履修を認められなかった場合は、2年次第3学期以降、副専攻コースの授業科目を履修することはできません。

なお、日本語教育コースの授業科目の履修時期は、4ページ以降を参照してください。

注）3年次以降（10月入学者は2年次以降）に副専攻コースの履修を申請する場合、2年次第3学期以降に開講される日本語教育コースの必修科目は、副専攻コースの履修を許可されるまで履修できません。

6 履修方法等

履修方法及び修了要件等については、4ページ以降を参照してください。

授業科目の内容、講義番号、授業担当教員、教室等については、上記を参考に、各自で教養教育科目のシラバス・時間割等により確認してください。

7 修得単位の取扱い

副専攻コースで修得した授業科目・単位の扱いは、所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱い（全学で定めている教養教育科目の授業科目に係る取扱いを含む。）によります。

所属学部の卒業要件単位となっている科目が、同時に副専攻コースを構成する授業科目に該当する場合は、この科目を卒業要件単位と副専攻コース修了要件単位の双方にカウントします。（ただし、経済学部夜間主コースの教養教育科目については双方のカウントの上限は20単位までです。）

8 修了証書の授与

副専攻コースを履修して修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻コース修了証書が授与されます。

また、副専攻コースの修了者には、「副専攻コース修了証明書（副専攻コースの全修得科目も記載）」を交付します。

9 その他の留意事項

所属学部の卒業要件を満たした場合は、副専攻コースの履修が途中であっても卒業となりますので、以後の履修はできません。

●各学部履修対象者判定方法（2年次の申請 注：10月入学者は1年次の申請）

学部	判定方法
文学部	2年次第2学期終了時まで45単位以上を修得した者。
教育学部	2年次第2学期終了時まで60単位以上修得（評語が「修了」及び「認定」の単位を含む。）し、GPAが2.7以上であること。
経済学部	2年次第2学期終了時まで、卒業要件算入単位を53単位以上修得し、単位平均点が80点以上とする。
理学部	1年次終了時まで、履修修得単位数が40単位以上で、単位平均点が80点以上であること。
グローバル・ディスカバリー・プログラム	4月入学者は2年次第2学期終了時まで45単位以上、10月入学者は1年次第2学期終了時まで30単位以上修得し、修得した科目の平均点が80点以上である者で、日本語による講義を受講するための日本語能力を有する者。（日本語能力試験等の成績の提出を課すことがあります。）

日本語教育コース (2019年度以降入学者に適用)

コース概要：					
日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し、外国人に日本語を教えらるる教師養成を目指します。					
科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	
				年次	期
※1 必修 科目	日本語教材研究1	1	1	2年次	第3学期
	日本語教材研究2	1	1	2年次	第4学期
	日本語学概論1 ※2	1	1	3年次	第1学期
	日本語学概論2 ※2	1	1	3年次	第2学期
	日本語教授法概論	1	1	2年次	第1学期
	日本語指導法1 ※2	1	1	3年次	第1学期
	日本語指導法2 ※2	1	1	3年次	第2学期
	日本語教育演習1 ※3 ※6	1	1	3年次	第3学期又は第4学期
※1 選択 必修 科目	日本語教育とマルチメディア	1	4	1～4年次	第2学期
	異文化の中の心理と支援	1			第3学期
	言語と社会	1			第1学期
	第二言語習得論	1			第2学期
	日本語教育演習2 ※3 ※6	1			第4学期
	日本語研究と教材作成	1			2020年度開講なし
※4 選択 科目	「日本語教育能力検定試験」の関連科目から選択		12	1～4年次	全学期
	教養教育科目として開設する全ての外国語科目から ※5		2	1～2年次	全学期
合 計			26		

注)

1. 必修・選択必修科目は、日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能の養成のための科目です。
 2. 「日本語教材研究1,2」を既に履修した者のみが、表中※2の科目を履修することができます。
 3. 「日本語指導法1,2」を既に履修した者のみが、表中※3の科目を履修することができます。
 4. 選択科目は、日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。外国語科目以外の科目名は、6ページを参照してください。
 5. 選択科目の外国語科目については、本コースの履修の許可を審査する際、履修申請者からの既修得科目の当該科目への認定申請に基づき、本コースにおいて修得した科目として認定します。
 6. 「日本語教育演習1」及び「日本語教育演習2」は2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認めません。
- ☆ 必修科目・選択必修科目の科目名に「2」がつく科目を履修する時には、同じ科目名に「1」がつく科目を既に修得していることが望ましい。

日本語教育コースの履修モデル (2020年度入学者の場合)

2020年度	選択必修科目・選択科目履修	8単位取得
2021年度	選択必修科目・選択科目履修	6単位取得
	必修科目履修 (日本語教材研究1,2, 日本語教授法概論)	3単位取得
2022年度	選択必修科目・選択科目履修	4単位取得
	必修科目履修 (日本語学概論1,2, 日本語指導法1,2, 日本語教育演習1)	5単位取得

日本語教育コース (2018年度入学者に適用)

コース概要：					
日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し、外国人に日本語を教えらるる教師養成を目指します。					
科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	
				年次	期
※1 必修 科目	日本語教材研究1	1	1	2年次	第3学期
	日本語教材研究2	1	1	2年次	第4学期
	日本語学概論1 ※2	1	1	3年次	第1学期
	日本語学概論2 ※2	1	1	3年次	第2学期
	日本語教授法概論	1	1	2年次	第1学期
	日本語指導法1 ※2	1	1	3年次	第1学期
	日本語指導法2 ※2	1	1	3年次	第2学期
	日本語教育演習1 ※3 ※6	1	1	3年次	第3学期又は第4学期
※1 選択 必修 科目	日本語教育とマルチメディア	1	4	1～4年次	第2学期
	異文化の中の心理と支援	1			第3学期
	言語と社会	1			第1学期
	第二言語習得論	1			第2学期
	日本語教育演習2 ※3 ※6	1			第4学期
	日本語研究と教材作成	1			2020年度開講なし
※4 選択 科目	「日本語教育能力検定試験」の関連科目から選択		10	1～4年次	全学期
	教養教育科目として開設する全ての外国語科目から ※5		2	1～2年次	全学期
合計			24		

注)

- 必修・選択必修科目は、日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能の養成のための科目です。
 - 「日本語教材研究1,2」を既に履修した者のみが、表中※2の科目を履修することができます。
 - 「日本語指導法1,2」を既に履修した者のみが、表中※3の科目を履修することができます。
 - 選択科目は、日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。外国語科目以外の科目名は、6ページを参照してください。
 - 選択科目の外国語科目については、本コースの履修の許可を審査する際、履修申請者からの既修得科目の当該科目への認定申請に基づき、本コースにおいて修得した科目として認定します。
 - 「日本語教育演習1」及び「日本語教育演習2」は2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認めません。
- ☆ 必修科目・選択必修科目の科目名に「2」がつく科目を履修する時には、同じ科目名に「1」がつく科目を既に修得していることが望ましい。

日本語教育コースの履修モデル (2018年度入学者の場合)

2018年度	選択必修科目・選択科目履修	8単位取得
2019年度	選択必修科目・選択科目履修	4単位取得
	必修科目履修 (日本語教材研究1,2, 日本語教授法概論)	3単位取得
2020年度	選択必修科目・選択科目履修	4単位取得
	必修科目履修 (日本語学概論1,2, 日本語指導法1,2, 日本語教育演習1)	5単位取得

2020年度副専攻日本語教育コース対象科目

科目区分	授業科目	単位	講義番号 期別・曜日・時限
選 択 科 目	トルコ系民族の言語と文化	1	911002 1・月・5, 6
	日本の農業と農村社会	1	911107 1・月・7, 8
	日本史を見る眼	1	911006 1・火・1, 2
	王朝物語の世界3	1	911007 1・火・3, 4
	日本語学と言語表現	1	911051 1・火・5, 6
	教育の科学(心理学) A	1	911047 1・火・7, 8
	※文化人類学への招待	1	911010 1・木・1, 2
	※茶の湯にみる日本文化2:作法と精神	1	911109 1・木・5, 6
	※国語教科書を読む	1	911061 1・金・3, 4
	Japan in the Age of Globalization 2	1	911134 1・金・3, 4
	日本学入門	1	911112 1・金・5, 6
	日本サブカルチャー論	1	911168 1・金・7, 8
	留学生と学ぶ日本伝統文化	1	912013 第1学期集中
	人間関係とセルフケア	1	911001 2・月・3, 4
	※子どもの歴史の学び方	1	911050 2・月・3, 4
	紙と漢字文化	1	911060 2・火・1, 2
	王朝物語の世界6	1	911008 2・火・3, 4
	日本文化理解1	1	911129 2・火・3, 4
	※文化人類学への招待	1	911011 2・木・1, 2
	※アジアを知る	1	911024 2・木・1, 2
	日本語の音声	1	911028 2・木・3, 4
	映像でみる20世紀の日本と世界1	1	911029 2・木・3, 4
	※教養としての日本文学	1	911031 2・木・7, 8
	※キャリアデザインI コミュニケーション力に磨きをかける	1	912401 2・金・3, 4
	人間関係論入門	1	911033 3・月・3, 4
	社会心理学1	1	911042 3・月・3, 4
	※アジアを知る	1	911025 3・火・1, 2
	異文化組織で働く	1	911116 3・火・5, 6
	留学生支援ボランティア実習 【注】2参照】	1	912510 3・水・5, 6
	日本語の歴史と「狂言」のことば	1	911009 3・木・3, 4
	映像でみる20世紀の日本と世界2	1	911030 3・木・3, 4
	異文化接触の心理学	1	911039 3・木・3, 4
	日本のポップカルチャー紹介	1	911169 3・木・3, 4
	ひとの言葉の起源と進化論	1	911041 3・木・5, 6
	※茶の湯にみる日本文化2:作法と精神	1	911110 3・木・5, 6
	比較・国際高等教育論I	1	911117 3・木・5, 6
	Japan in the Age of Globalization 1	1	911133 3・木・5, 6
	Global Sociology: Understanding Diversity	1	911137 3・木・5, 6
	創造的討論技術を学ぶ スペシャル	1	912026 3・木・7, 8
	グローバル社会における日本語教育	1	911119 3・金・5, 6
	国際協力とプロジェクト管理	1	911120 4・月・7, 8
	Cross-Cultural Experiences	1	911138 4・月・7, 8
交流による子どもの成長支援I	1	912017 4・月・7, 8	
※アジアを知る	1	911026 4・火・1, 2	
※国語教科書を読む	1	911062 4・火・5, 6	
映像でみる20世紀の日本と世界—戦後復興から高度成長期まで—	1	911043 4・木・3, 4	

※キャリアデザインI コミュニケーション力に磨きをかける	1	912402	4・木・3, 4
※教養としての日本文学	1	911032	4・木・5, 6
※子どもの歴史の学び方	1	911055	4・木・5, 6
茶の湯にみる日本文化1：日本の美と文化史	1	911111	4・木・5, 6
創造的討論技術を学ぶ デラックス	1	912027	4・木・7, 8
語学研修・サマーコース 【注）2参照】	1	911124	夏季集中
小中学生の協同教育のための教材開発	1	912039	夏季集中
語学研修・スプリングコース【注）2参照】	1	911125	春季集中
異文化理解1	1	911127	春季集中

必修科目	日本語教授法概論	1	911093	1・火・3, 4
	日本語指導法1	1	911089	1・火・5, 6
	日本語学概論1	1	911091	1・金・3, 4
	日本語指導法2	1	911092	2・火・5, 6
	日本語学概論2	1	911094	2・金・3, 4
	日本語教材研究1	1	911095	3・火・5, 6
	日本語教育演習1	1	911097	3・水・3, 4
	日本語教材研究2	1	911096	4・火・5, 6
	日本語教育演習1	1	911098	4・水・3, 4
選択必修科目	言語と社会	1	911090	1・火・5, 6
	日本語教育とマルチメディア	1	911088	2・月・3, 4
	第二言語習得論	1	911101	2・火・3, 4
	異文化の中の心理と支援	1	911100	3・火・3, 4
	日本語教育演習2	1	911099	4・火・3, 4

注)

- 各授業科目の内容については、教養教育科目のシラバスで確認してください。
科目によっては、受講要件がありますので、特にご留意ください。
- 複数の期別・曜日・時限に開講される科目であっても、同一名の授業科目は、重複して履修することができません（表中の※印の科目）。また、※印以外の科目でも、昨年度以前に単位を修得した科目（読替科目を含む）は、重複して履修することができません。
ただし、「留学生支援ボランティア実習」は、昨年度以前に単位を修得していた場合でも、重複して履修することができます。副専攻コースの修了要件単位として、合計で最大2単位まで算入できます。
また、「語学研修・スプリングコース」「語学研修・サマーコース」も、重複して履修することができます。副専攻コースの修了要件単位として、各科目それぞれ合計で最大2単位まで算入できます。
- 「日本文化理解1」は重複履修可能な科目ですが、副専攻コース修了要件としては1科目しか認められません。
- 対象科目は上記に掲げているものに限ります。同一の授業科目名であっても、期別・曜日・時限が異なるものは対象となりません。